

津波や地震、原発の怖さを後々に伝えなくては…

支援派遣責任者の浅野看護部長 支援隊を迎えに今日 現地へ

4月28日9:00現在
支援募金**12,219,214円**

協議会被災地支援チーム報告

■第8次支援チーム報告 4/26（4日目）

★「家の片づけを手伝ってほしい」と 相馬和明

26日は午前中に多賀城文化センター、午後は多賀城総合体育館でした。午前の多賀城文化センターでの支援内容は問診と足浴でした。足浴は介護、看護、ケアマネなど様々な職種の6人で行いました。足浴の宣伝に回ったら来てくれたことを喜ぶ声や感謝される声が聞かれましたが、中には「夜にやってほしい」「風呂に入れるようになったからもういいよ」という人も多く見られました。また、日中に家の片付けに行くので大変という人がいて、手伝ってもらえると助かるという声が聞かれました。入浴できるようになったため、足浴の需要がやや減少してきています。しかし、夜間の足浴希望は多く、ニーズは高いです。しかし、家の片付けの手伝いのニーズも見られることから、人手が余るならそのような手伝いをするのも良いかと思いました。

足浴は約20人近く行ないましたが、爪が明らかに伸びている人や汚れのひどい方はいず、むくみのある方にマッサージをすると「気持ちいい」と感謝されました。途中、足浴が混み、いろいろ話ができずに気分を害してしまう人もいて、謝りに行くことがありました。できればゆっくり行ないたいですが、待っている人もいるのでそうはできない現状があり、難しいと感じました。

明日で災害地支援が終了するので、それぞれ役割を持った職員は引継など遅くまでしています。支援での疲れに加え、床での雑魚寝、慣れない環境、一人になる時間があまりないなどで疲労がかなりたまってきています。体調不良にならないように支援メンバー同士支え合って乗り越えていきたいと思います。

<4月28日午前9時現在の法人別募金額>

東都協議会 東日本大震災支援募金法人別集約表

| 法人名 | 金額 | 法人・団体名等 | 金額 |
|--------|-----------|----------|------------|
| 健和会 | 6,338,250 | ファミリーケア | 92,179 |
| 健愛会 | 603,766 | すこやか福祉会 | 1,242,973 |
| 南葛勤医協 | 1,071,034 | 福祉協同サービス | 184,084 |
| アカシア会 | 183,956 | リップル | 177,200 |
| デンタル健和 | 40,000 | 東都企画 | 139,420 |
| メディックス | 156,849 | HCS | 24,000 |
| 健康サービス | 5,000 | 東都ウイング | 29,000 |
| ピーシーエス | 76,000 | 東都医療福祉学院 | 75,000 |
| クロスライフ | 52,000 | ふおろう・ゆう | 4,094 |
| 医福協 | 289,820 | 友の会 | 896,960 |
| 千の手 | 120,000 | 健和会OB会 | 176,670 |
| | | 個人その他 | 240,959 |
| | | 合計 | 12,219,214 |

■支援募金の使いみち<4/28 午前9:00 現在>

| | |
|-------------|------------|
| 被災地義援金 | 7,000,000円 |
| 救援物資購入費 | 342,165円 |
| 支援隊経費・備品購入費 | 1,518,407円 |
| 振込手数料等事務費 | 2,180円 |
| 支出合計 | 8,862,752円 |
| 差引残高 | 3,356,462円 |



「東日本大震災」東都協議会
支援対策本部NEWS
第41号
2011年4月28日(木)
連絡先: Tel.03-3879-4530



協議会被災地支援チーム報告(続報)

■第8次支援チーム報告 4/27 (5日目)

★「私たちよりもっと大変な人も…」長谷川明子 我慢強い人たち

長町病院友の会と若林クリニックでは、被災した地元の家を一軒ずつ、「体調を崩していませんか？生活で困っている事はありませんか？」と訪ねています。私はその長町班に23.25.27日の3日間入りました。午前、午後と歩き回り、歩数計が22000歩に及ぶ日もありました。長町地区は、被災後も直ぐに電気、水道、ガスが復旧した地域です。震災から一ヶ月半経った街中は、大手のレストランや地域のラーメン屋さん、コンビニなど普通に営業していました。復旧が進んでいる地域だと聞きました。

長町地域で訪問した方々の多くは「私たちは大丈夫。家も有るし、生活も普通に出来ています。私たちよりもっと大変な人もいっぱいいる中、私たちは幸せです。」とおっしゃいます。しかしよくよく話を聞いてみると、夜眠れずに安定剤や睡眠薬を飲んでいたり、眠る時にはいつでも逃げられるようにと、服を着たまま眠っていたりする人もいました。また、被災後子供の様子が変わり心配しているお母さんの話も多く聞くことができました。家もヒビが入ったり、瓦が落ちたりしているのに、罹災届を出さずに、補修している人もいました。テレビなどで流れる最も被害が大きな地域の情報などから見ると、確かに被害は小さいですが、彼らも被災者なのにと、釈然としない気持ちになりました。

長町病院の隣にある「蛸薬師」って？

最終日の今日は、初めて若林地区の訪問をしました。この地区は海岸線に近く、大きな道路を隔てた海辺の地区は壊滅的な被害を受け、道路の反対側は被害が少ない地域です。昼過ぎに訪問をしたのですが、留守が多く、あまり話を聞けませんでした。まだ復興が進んでいない地域もあり、田んぼ一面に倒れた木や車などがそのま

まになっていました。

案内人の県連事務局・武井さんの話では、復興の進んでいる地域と遅れている地域があり、格差が生まれつつあるそうです。車中、武井さんに震災直後の様子など詳しく話していただきました。

津波や地震、

原発の怖さを忘れないように、後々に伝えなくては

武井さんのお住まいの地域では、震災直後は街中に、普段見かけないほど人が通りを歩いていたそうです。情報が無く、みんな情報を求めて歩き回っていたそうです。一週間ほどはみんな通勤もできず、水や食べ物を探したり、いろいろとしないではいけないうらばかりで、ハイになり動き回っていたそうです。そして話しは、長町病院の隣にある「蛸薬師」になりました。なんでも、昔、この一帯に洪水があり、水が引いた後を見ると、蛸に吸い付かれた薬師様の像が流れ着いていたそうです。この薬師様を祀っているので、蛸薬師と呼ばれているそうです。神社の方に話を聞いてみると、この洪水は1611年の慶長津波とのことでした。

武井さんは「昔も大きな津波があったのに、その事をみんなあまり考えていなかった。津波や地震、原発の怖さをみんな忘れないように、後々に伝えなくては。」「今年はジャンボリーが宮城で予定されていました。まだ出来るかはわかりませんが、もし出来る事になったら、多くの若い人達に是非参加して欲しい！宮城は必ず復興します！」と言われました。



★「時間が解決してくれる…」

寺崎織絵

まぐろ丼(まぐろ解体ショー付き！)

配属されたのは多賀城市総合体育館の支援チームの事務局です。チームが円滑に支援を行えるよう民医連支援本部や体育館本部とのコーディネーターや書類関係の整備を主に行いました。

体育館ではパンなどの配給の他、炊き出しも毎日行われています。豚汁、まぐろ丼(まぐろ解体ショー付き！)、いも煮、たこ焼きなど。思ったより食事が充実してい

ます。毎日イベントもあります。全て支援者の好意によるものですが、被災者にとって居心地が良すぎる環境になり始めていることも課題の一つだそうです。

また感染性胃腸炎の流行の兆しもあり、実際隔離者が数名。被災者自身に清掃や手洗いを促してはいますが、徹底されてなく、トイレや手すりを消毒しました。認知症の高齢者をどうしていくかも大きな課題。ようやく包括が避難所回りを始め、保健師始め連携を取り始めています。

「ようやく話せるようになった。時間が解決してくれる」

被災者の方に恐る恐る被災の状況をお聞きしたところ、皆さん堰を切ったように話し出すことに意外性を感じました。「ようやく話せるようになった。時間が解決してくれる」という言葉が印象的です。

やはり実際に被災地や避難所を見て被災者さんと触れ合うことで、改めて現状の悲惨さをリアルに感じずにはられません。

被災者さんのありがとうという言葉にただひたすら恐縮するばかり。不謹慎ながらこの出会いに感謝することに精一杯です。



■支援募金の振込先

【支援募金銀行振込口座】 <この口座は経理部管理です>
 足立成和信用金庫本店 普通 0506580
 名義 高野 三幸 (タカノ ミツユキ)

■東日本大震災での支援者の扱いについて

協議会震災対策本部

- ①被災地支援期間は、勤務扱いとする。
- ②上記期間で指定休があった場合は、別な日に指定休を取得する。
 *現時点では、上記のみ確認しています。扱いについて追加がある場合は、再度ご連絡します。

■震災支援対策本部ニュースの活用について

協議会震災対策本部

「東日本大震災」東都協議会支援対策本部ニュースは、今号で第41号になりますが、デスクネットのインフォメーションのみの掲載で印刷・配布等は行なっていません。インフォメーション上だけでは見逃してしまう可能性があり、非常勤職員などデスクネットを見ることができない職員もいるのが現状です。

時々刻々と変わる被災地の状況や被災地支援行動に参加された職員の報告・感想、各法人・院所・事業所での取り組み報告など、貴重な報告もありますので、できれば各職場でプリントアウトし掲示してください。

なお、見逃してしまう場合もあり得ますので、デスクネットの文書管理に過去のニュースをファイルしてあります。ご確認ください。

ニュースの格納先は、
 文書管理／協議会関連／東日本支援対策本部／支援対策本部ニュース です。

